

◎ 広報

たかのす

平成

2・1・1

№. 663

発行日 毎月1日・15日

◆ 編集と発行 鷹巣町役場総務課広報秘書係

TEL 0186-62-1111

FAX 0186-63-2586



謹賀新年

新年を迎えるにあたり日頃、町政に深いご理解とご協力をいただいております町民各位をはじめ、関係機関、団体に衷心より感謝申し上げますとともに、国内をはじめ国際的にもなお一層の平和共栄が進展されますようお祈り申しあげます。

昨年は、一世紀におよぶ悲願でありました「秋田内陸線の全線開業」／「県北の地に空港を」をスローガンに運動を進めてまいりました県北空港建設予定地に「大野台・中屋敷地域」が決定、そして内外から注目され、町活性化の起爆剤となるべく「大太鼓の館オープン」など、まさに来る二十一世紀に向け、町が大きく始動を開始した記念すべき年となりました。

また、二年続きの異常天候に見舞われ、基幹産業であります農業に大きな打撃を受けましたが農家や関係機関の懸命の努力により被害を最小限にいとめることができました。

今年、教育文化の拠点としての「教育文化会館」の建設に着手します。この会館は図書館、資料館を包含しながら固定席六〇〇を備えるホールを予定しており、町民の文化性の醸成に大きく寄与するものと期待されます。

また、広域ゴミ焼却場の完成、県北空港早期実現に向け一丸となった運動、一〇五号バイパス工事の促進、一大スポーツゾーンとして期待される米代川河川緑地公園の整備をはじめ地場産業の育成、企業誘致の促進等、産業、教育、福祉など複雑多岐化する町政全般にわたり英知を結集しながら、町民生活の向上と健康でたくましい町づくり邁進する所存であります。

今後とも、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。あわせて皆様のご健勝とご繁栄を心よりお祈りして、年頭のごあいさついたします。

平成二年元旦

阿波町長 出川禮一

「新たかのす農協」

3農協（七綴市子）による合併案了承

合併期日は4月1日



今後のスケジュールなどを決めた協議会

七日市農協、綴子農協、栄農協の三農協の合併を前提とした「第八回町農協合併促進協議会」が、十二月二十二日に広域交流センターで、各農協の役員など五十人が出席して開催されました。

会議では、これまでの部落座談会の報告や、今後のスケジュールを確認し、合併を了承しました。

協議会では、三農協の理事、監事、青年部長、婦人部長やこれまで指導してきた農協中央会など五十人が出席して開催されました。

会議では副会長を務める三農協組合長から、農協合併に関する部落座談会の状況につ

いて報告され、「いま農協の

合併は時代の流れであり、経営基盤の確立や、多くの組合員の付託に応えるためにも、最後のチャンス」「この厳しい局面を打開するには、合併

の必要性を強く感じている」などの報告がされました。

協議事項については▽合併予定日を平成二年四月一日とする。▽合併予備調印式は十二月二十五日とする。▽臨時総会は平成二年一月十日に、三農協一せいに開催する一と決定しました。

町の基幹産業である農業は高齢化、兼業化の進行や米価の低迷に加え、二年続きの減収など一層深刻となつています。反面、低コスト、バイオテクノロジー、氾濫する情報など、時代は大きく動いており、これら、複雑化する農業問題に対応すべく、「新たかのす農協実現」に大きく前進しました。

■1日(金) 社会福祉研修大会は、社会福祉団体の役員等関係者多数参加のもと講演、体験発表と功労者の表彰を行った。

■3日(日) 大館市北秋田郡公民館活動研究大会は、郡市内の市町村を会場として年一回行うもので、八年振りの当町での開催であった。来賓として祝辞を述べた。

■4日(月) 町営業師山スキー場運営委員会に出席した。



町長

日誌

出川 禮一

12月1日～15日

た。

■6日(水) 農業者いきいき祭りが開催された。この会は、鷹巣普及所管内町村の生活改善実行グループの主唱によるもので、二百人余が参加された。現状の農業を見つめ、二十一世紀に向けていきいき農業を築き上げようと開かれたものであり、激励のあいさつを述べた。

■7日(木) 人権擁護週間にあたり、人権擁護委員の

方々と街頭啓発を行った。また、十二月一日より三年の任期による民生児童委員の辞令(厚生大臣、県知事より任命)の交付を行い福祉の第一線で活動する各委員に、きめ細かな活動を要請した。

■9日(土) 自民党県連主催による「県民と語る会」が秋田市で、初めての試みとして開かれ県町村会長として出席した。

■10日(日) 地域交流ホーム竣工式。同ホームは、社会福祉法人東北報公会が、日本小型自動車振興会、県町、法人役員等の助成、借入により吉野子供の村の施設内に完工。入所者の便宜が図られるとともに、地域の福祉研修施設としても利用の道が開かれた。

■12日(火) 21日(金) 町議会十二月定例会が開催され、補正予算、条例改正案が上程審議される。

平成新時代

ことしは



が 主役です

西暦一九八〇年代から九〇年代になり、元号が

「平成」となって初めての新年を迎えました。

希望に満ちた今年の干支は「馬」。この「馬年」

にちなんで町内の「年男」「年女」の方々に新

年の抱負、目標、願いなどを記していただきま

した。

野を駆ける馬のように力強く、そして大きく飛

躍できる一年でありたい——との願いを込め、明

治二十七年生まれの九十六歳から昭和五十三年

生まれの小学五年生までの十四人が登場。

今年の主役たちの心意気を、どうぞご覧ください。

人生七転び八起き

四代を生きぬいて



東横町・清水宇サさん
(明治27年生まれ)

明治・大正・昭和・平成と四代にわたり、激動のさ中を生き続け今なおおかげさまで健在であり、馬年生まれの九十六歳になりました。

その間、五男一女の子宝に恵まれ、一人を戦争で一人を

交通事故で亡くしました。特に三男を戦争の犠牲にしたのが痛恨のきわみであります。

息子五人のうち四人までも戦争に駆り出され、軍国の母よ」と崇められたときもあつたけど、長男は終戦と同時にシベリヤに抑留され、寒さと過酷な労働にさいなまれ、みじめな姿で復員してきました。

二男は、南方ニューギニアからマラリアを土産に背負い復員。このような悲惨な出来事は二度とあってはならない。馬年生まれの私は夫と二人で、文字通り、朝の早いうちから空が暗くなるまで、そして月の明りで野菜畑を耕した

ものです。

現在四人の子供は、同じ町内でそれぞれ独立して安定した生活しており、これが私のなよりの生き甲斐であります。

「細く長く」



糠沢・今川与三郎さん
(明治39年生まれ)

「新年おめでとう」を、もう八十回以上も言ってきたので、日暮れどきの人生は間違いない事実である。

十二支の干支も七回を巡ってしまっただけだが、この間、何回となく人生にケツまずき、かつ転びながら生きてきた。

やはりから落ちての大ケガや、高い所から足をすべらせ半分に切ったドラム缶で、腎臓ひとつを失ったことなど、はなはだ近所迷惑なあらくれ馬であった。

だから今年、さしずめ七転びから八起きの午年にした

いとも思っています。だがどう見ても、勢いをすっかりなくした馬だから、「ヨイショ」とかけ声だけは倍高くて、またいろいろなことにわずらわされながら、精いっぱい残された一日一日を過ごしてまいりたい。

同じ干支の私よりずっと若いみなさんに事のすべてを託し、たとえ細くてもいいから「息長く」「したたかに辛抱強く」と、大きな声援を送ることが、私に今できることである。

「無事故の町」を願う



与助岱・富山照子さん
(大正7年生まれ)

私も今年六回目の馬年にあたる老人になりました。今はなにもしておりませんが、竜森へき地診療所の保健連絡員として十二年間お世話になり、

現在に至っております。

いつも心を痛めることは交

通事故のことです。今から四十年くらい前は、馬も農家にとつては貴重な存在で、車や農機具の代りもしましたが、今は時代の進歩と共に田畑も整備され、また道路もよくなり、車も一軒に一、二台となりました。

今は、交通戦争といわれるほど事故が多く、いたましい人命が毎日のように奪われており、運転者だけの交通安全でなく、私たち歩行者も十分気をつけなければいけないと思っております。

横断歩道は青信号まで待つこと、バスなど大型車の後から飛び出しはしないことなど、自分の身は自分で守る“を肝に命じ、人に迷惑をかけるい愛される老人になりたいと思っております。

これからの人生を食生活に気をつけ、自分に合った運動をして長生きするようがんばりながら、平成二年は鷹巣町から交通事故がないように願っています。

時代に対応した農業を

月日のたつのも早いもので、アツという間に五回目の生ま



摩当・松岡政夫さん
(昭和5年生まれ)

れ年を迎えることになりました。

その間、いろいろな事がありました。私にとって一番思い出となり体験となったことは消防団時代の四十三年間の務めで、昨年退団いたしました。在団中いろいろな指導いただきました方々に、心から感謝しております。

いま、農業は大変きびしい情勢に立たされておられ、我々農家もその影響は避けられないと思えます。

これからは、時代の変遷に対応した農業経営が大切と思っております。健康に留意しながら複合経営をおりこんだ農業を目標にがんばって行きたいと思えます。

鷹巣に嫁いで三十年

今年私共の干支、馬年にあたるのですが、歳月の流れ

の早いのにビックリするばかりです。

私が東京から鷹巣に来まして丁度三十年になる記念すべき年でもあります。あらた



今泉・簾内喜美子さん
(昭和17年生まれ)

めて過ぎ去った日々には思い出を新たにしているしだいで

「秋田の空気とお米がおいしいゾ」と、言葉巧みに誘われ両親の言うことも上の空でこの鷹巣にきました。見る物聞く物みんなめずらしかったのですが、言葉にはとても不自由して心細い日々を送ったものでした。

でも今では二歳になる孫を中心に、家族全員が健康で楽しい日々を送ってくれば一と願っております。

大きな節目を迎え

今年自分にとって、人生の準備から実行の年にしたい



坊沢・永井 季さん
(昭和29年生まれ)

と考えております。

東京からUターンし家電販売の店を坊沢で始めて十一一年目に入り、去年十二月に店も少しだけ大きくして十年目の節目が一つ過ぎ、また新たな気持ちで販売に力を入れ、よい年にしたいと思っています。毎年、新年を迎える時の願いは、この一年家族皆んが健康で事故に合わぬようにと願います。商人にとって健康は宝であり行動の源です。健康でさえあれば一歩ずつでも前に進むことができます。

二人の子供の父親として、恥かしくない人生を、働らく背中を見せながら教えていきたいと考えています。

この一年が、私共にも町民の皆様にも良い年でありますように祈っております。

人と人との

出会いに感謝して

昭和四十一年生まれで今年二十四歳になる。同級生のほとんどは社会人としてバリバリと仕事や、結婚して子供のいる人も少なくない。



舟見町・成田 智子さん
(昭和41年生まれ)

私は「馬年」生まれではあるが、一心にゴールをめざして走る競走馬でも、おおらかに原野を行く馬でもない。安全な囲いの中に保護された飼馬とでもいおうか。大人たちの用意してくれた学校や家庭の中で、何の苦勞や心配もなくノンビリと暮らしてきた。

学生時代は学校や家庭が自分の知りうる世界のすべてであった。その中で私は世間知らずでわがままな馬になってしまったようだ。

今、広い社会に放され、その厳しさに思わず足がすくんだり、ドンと尻を蹴られることもある。しかし沢山の人の教えられ、助けられ「世のありがたさ」を知ることができた。非力な私だが自分のでき

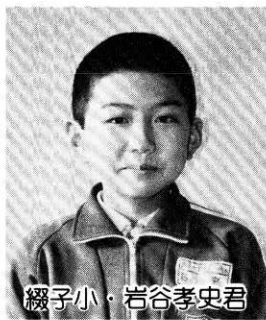
る限り、これから恩返しでき

れば幸いである。

最高学年として

責任をもつて

銀河のよう にペガサスのように



綴子小・岩谷 孝史君

十二年前の五月二十四日、ぼくはお母さんの祖母のつきそいのもと、この世にたん生しました。

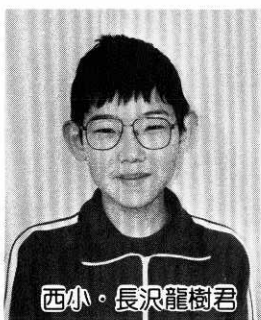
会社からは父が、五つ年上の兄はようち園から、大急ぎでぼくを見に来てくれたそうです。とても元気な赤んぼうだったようで、父や母をこまらせた聞き、今になってはずかしいような気持ちになります。ぼくの名前は、親孝行の孝という字が使われており、人と人との関係を大事に受けついで行ってもらいたいという願いをこめて、父母がつけて

キズつく言葉を言わないようにしたいです。それに計画を立ててキチンとした生活をしたいです。学習の時間や手伝いなどをしっかりと決め、今年こそはがんばりたいと思っています。そのほかに、学習の方では自主勉強などをきちんと、毎日なまけずにがんばりたいです。

また、近所の人たちや友だちへのあいさつは、小さな声だったので大きな声で元気よくすることです。

今年、自分で決めた目標に向かいがんばります。

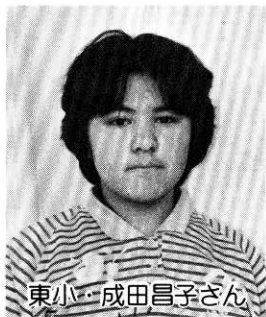
今年がんばること



西小・長沢 龍樹君

今年がんばる目標のひとつ目は、体力づくりです。なぜかという今年、自分の体は弱いのに部活にも入らないし、家での体力づくりもろく

思いやりを大切に



東小・成田 昌子さん

馬年になって、わたしの目標は思いやりの心をもって、みんなとなかよくすることです。なかまはずれや、相手が

にやっっていないので、もっと力をつけたほうがいいので体力作りを選びました。

二つ目は勉強です。なぜかという、去年は勉強中にアクビばかりして、なん度も先生の話をよく聞いていなかったことがあったので勉強を選びました。

三つ目は給食です。このごろは好ききらいをしなくなってきたけれど、まだ残してしまふ時があるし、体にもよくないので給食を選びました。今年馬の年なので、特にこの三つを目標にしてガンバッていきたいと思えます。

今年私の年



中央小・本城真知子さん

「さアがんばるゾ！」そんな気がわきあがる。

学校では最高学年と学校の顔であり、機関車である六年生だ。先輩たちを見習って中

央小の伝統を引きつぎ、下級生をグングン引っぱって行ける六年生になろう。

また、ただなんとなく一日を過ごすのではなく、ふりかえって見た時、「今日はよい一日だった」と思えるような日にしたい。そのために自分のできることは積極的に取り組もう。

今までは「だれかがやってくれるだろう、やっつてからやる」と引つ込み思案なところがあつたが、今年は率先して行動する人になろう。

「今年真知子の年だ。ガンバレよ！」と家族も応援してくれる。大きく飛躍する年になりたい。

今年

ゆめいっぱい



南小・丸嶋雅克君

ぼくは今年、年男であり南小学校の最上級生になります。走るのが速く力のある馬の

ように馬力を出して、この一年をガンバリたいと考えています。

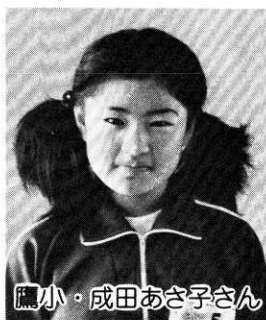
ぼくの将来のゆめは、巨人軍に入ってファーストをやることです。そのゆめをかなえるために、足が少しおそいで朝早くおきて岩脇を一周するつもりです。そして、まだまだ練習不足なのでもっと練習をがんばりたいと思います。

勉強の方では、特に漢字をがんばりたいです。昨年は漢字が分からなくても家庭学習をしなかつたので、今年からは全部の漢字を覚えるようにします。理科もよくわからないのが多いので勉強して得意になりたいです。

今年のゆめはいっぱいあり、全部かなえることができるように、ケガや病気をしないでがんばりたいと思います。

陸上競技を

がんばりたい



鷹小・成田あさ子さん

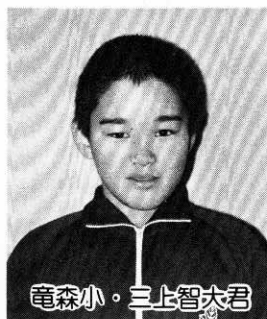
今年、大好きな陸上競技を一生けん命がんばりたいです。

鷹小は陸上部がありませんので、今年陸上部ができてくれればいいと思います。

去年私は郡市陸上大会に出たことが一番楽しいと思いましたが、きん張すると思つていただけ、全然といっていいほど、きん張しませんでした。私が出たのは百メートルで、結果は四位で、まあまあでしたが、とつてもくやしかったです。「せめて三位以内」と思つていたので。

だから今年、一生けん命走つて郡市大会まで行き、三位以内に入り、昨年のようにくやしい思いをしないように馬のように早く走りたいと思います。

学校の機関車となつて



竜森小・三上智大君

今年、ぼくが生まれて二年目です。ぼくも竜森小学校の最高学年になる年でもあり、責任が重くなります。それに、現在の六年生は九人ですが、ぼくたちは五人だけで男はぼく一人です。

六年生は、学校の顔といわれるので五人で仲良く助けあい、みんなの先頭になり、機関車になつて引っぱつてがんばりたいと思います。

昨年ぼくは、初めて自転車コンテスト県大会に出場し、九位に入賞しました。その時はとてもうれしかったです。今年も町の自転車大会で八連勝を目指し、県大会では優勝を目標にがんばりたいと思つています。

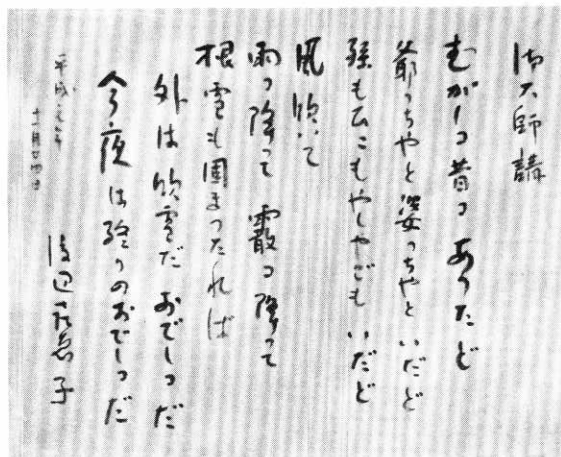
また、毎年森林教室が行われ父母や先生、おじいさん、おばあさんといっしょに枝打ちや間伐などをやつており、この行事をとおして自然の大切さ、すばらしさを体験しています。これは緑にかこまれた竜森小学校だからこそできるのだと思います。

これからは竜森小学校の伝統を守りながら、新しい竜森小学校を創り出す気持でがんばるつもりです。

夕べ あずきがゆやおはぎなどのごちそうを沢山食べた。そして、決まったように吹雪が吹き荒れたようだ。童心にかえった渡辺喜恵子さんと子供たちの語らいに、昔をほうふつとさせる



▲「大師講」には、子供たちがお年寄りから昔っこを聞き、あずきがゆやおはぎなどのごちそうを沢山食べた。そして、決まったように吹雪が吹き荒れたようだ。童心にかえった渡辺喜恵子さんと子供たちの語らいに、昔をほうふつとさせる



▲旧暦の11月4、14、24日に行われ、当時の子供はこの日を首を長くして待ち望んだ。12月24日は「終りの大師講」。カベには渡辺さん直筆の書が張られていた

▼子供たちは、お手玉や昔話に瞳を輝やかせた



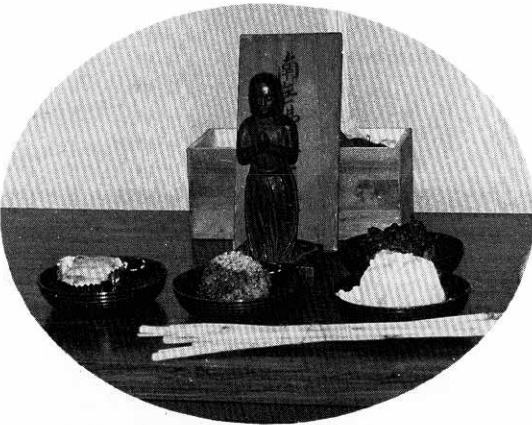


みちのく子供風土記館で

12月21日

『大師』の

▲夜は「昔の思い出を語る」として、当時をなつかしむ人々が集まり、「あずきがゆがうまくてなァ」「吹雪の中、カヤを取りに行ったものだ」と、過ぎ去った日々を胸を熱くしていました



▶安置された御大師様。貧しくも助け合い、慈しみあった人々の心が秘められている

▶いろいろにイワナが焼かれ、持ちよった重箱にはゼンマイや煮しめなどがいっぱい



教育講演会の案内

演題
親だけにできる教育



講師
俵 萌子

■日時 一月十二日(金)

午後一時～二時三十分

■会場 鷹巣小学校体育館

■主催 鷹巣阿仁部教育事務協議会

農業技術テレホンサービス

鷹巣農業改良普及所では、農業(生活)技術情報のテレホンサービスを行っています。1月の放送予定は次のとおりです。

- 1月5日～1月9日
新年にあたり
- 1月10日～1月17日
営農改善工夫の紹介 ①
- 1月18日～1月26日
営農改善工夫の紹介 ②
- 1月27日～2月2日
転作大豆の調理と加工

ダイヤル62-0029で御利用ください。

成子想図



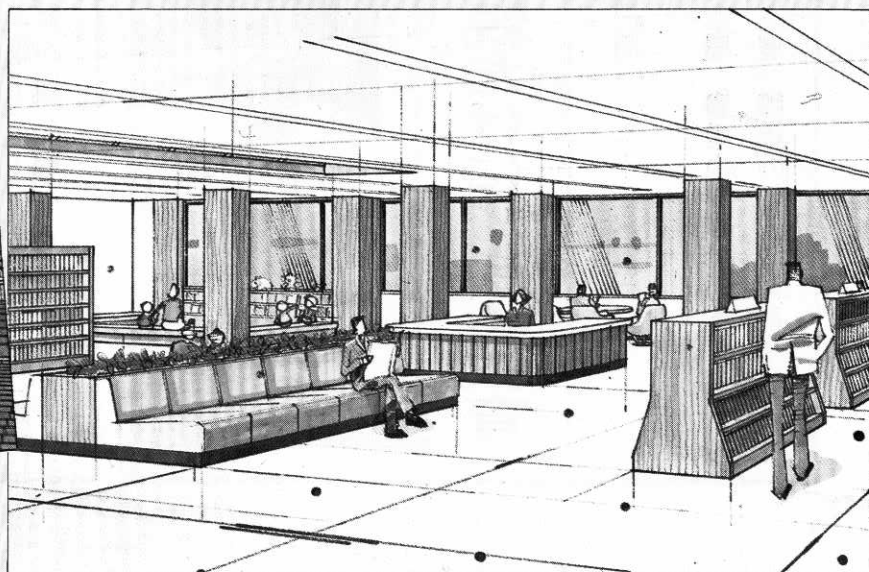
町民が待ち望んでいた教育と文化の総合施設「**〔仮称〕鷹巣町教育文化会館**」が、みちのく子供風土記館の隣接地にいよいよ着工されます。
平成元年度と二年度の二カ年で建設するもので中には図書館、資料館、そして固定席を設けたホールなどが計画されております。
総面積三、一三五平方メートル、総事業費十一億七千万円あまりを投入するもので「**総合文化ゾーン**」として一日も早い完成が待たれます。



コンサート、演劇、映画などに対応できる
舞台は間口15メートル、奥行13メートルと広々スペース

◀ 図書館 ▶

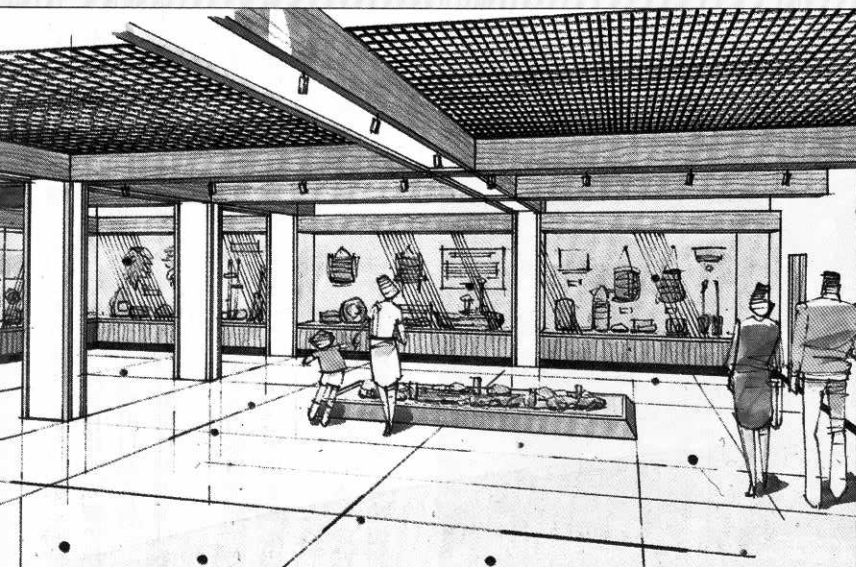
5万冊の蔵書が可能で、防音にも配慮されており、快適空間とあいまって町の「総合データベース」となる



総合文化施設(仮称) 教育文化会館の完

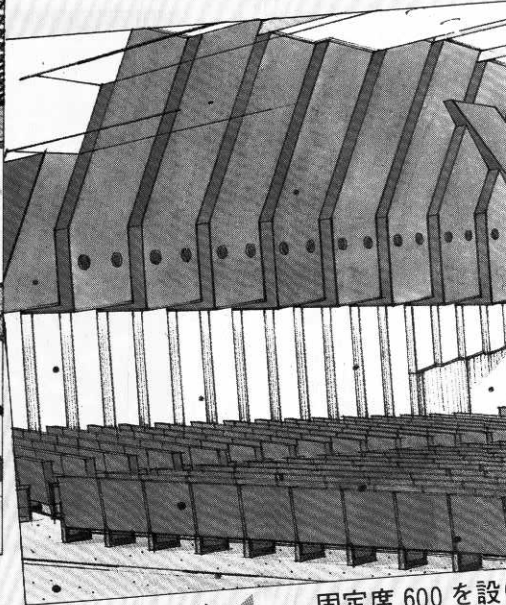


(予想図であり完成には若干の変更があります)



▶ 資料館 ◀

町の歴史や民俗を伝える貴重な資料などを常時展示するほか、各種特別展示や収蔵もできるように工夫されています



▶ ホール ◀

固定席 600 を設
本格的ホール。ス

12月定例会 行政報告



平成元年十二月定例町議会は、十二月十二日から二十一日まで十日間の会期で開かれました。議会は、初日に町長の行政報告と提出議案の大綱質疑が行われたあと、各常任委員会に付託されました。十三日、十四日の両日に一般質問、十五日から各常任委員会が開かれ付託議案等を審議、最終日に本会議を開いて閉会しました。

十二月定例会の行政報告は次のとおりです。なお、決定した議案等は一月十五日付広報で報告します。

県北空港総決起集会は

大変な盛り上がり

〔企画調整課関係〕：秋田県北空港については十月三十日、県高速交通体系等整備促進特別委員会において、滑走路の位置が決定したのを受けて、県では県北空港建設調査専門委員会を設置し、国のヒヤリングへ向けて体制がためをしております。

期成同盟会では、誘致企業への空港建設説明会を開き、側面から協力を要請すると共に、関係市町村長の上京に合わせて波状的陳情を繰り返しており、今後も陳情回数などより一層強化する必要があると考えます。

十一月二十六日鷹巣体育館を会場に「秋田県北空港早期実現総決起集会」を開催したところ、予想を上まわる二、五〇〇人が参加し大変な盛り上がりを見せ、パレード等と合わせて住民の熱意を強くアピールすることができました。この熱気を土台に、これからは署名運動等官民一体となって国の第六次空港整備五カ年計画への組み入れをめざします。

秋田内陸線については、四月一日の全線開業から六カ月経過、乗車人員は約六〇万人で、昨年同期に比べ

て二・四割の増となっております。また、第三回秋田内陸沿線町村ふるさと祭を十一月三日に大太鼓の館イベント広場で開催したところ、沿線町村から約二、五〇〇人の観客があり、乗車運動の拡大に結びつけることができました。

東京鷹巣会は十月十五日、東京都「日本青年館」で二回目の総会を開催したところ、二〇〇人の会員が出席し、ふるさと意識を深めました。

元年度地積調査は糠沢、大畑、岩谷、二本杉の四集落九・六二平方キロの一筆地調査を終了し、現在仮閲覧の準備しております。



〔町民課関係〕：十一月五日から十一日まで実施された「秋の火災予防週間は、消防本部による全町の巡回指導と防災思想の普及をめざし、六地区に結成された婦人消防協力隊による各種訓練と研修を行いました。

消防施設の整備では横瀧、七日市本郷、小森、小田に防火貯水槽を、また上・下舟木、大堤、田沢に消防

器具置場を、そして小猿部簡水完工に伴い各集落に消火栓十基に加えて田中、伊勢町、南鷹巣に三基を新設しました。

第六回町社会福祉大会を、児童を支える地域福祉活動をどう進めるか”をテーマに、関係団体の協力により心のふれあう社会をめざして十二月一日に開催し、福祉活動に功労のあった個人・団体に表彰状と感謝状を贈り、その労をねぎらいました。

〔保健課関係〕：元年度（第十七回）健康大学は、沢口地区を対象に「自らの健康は自ら守る」という意識の徹底をはかり、健康で豊かな町づくりをメドに十月二十五日まで五回の講座を開設し、延べ三二〇人の受講がありました。

十一月二日から四日まで開催された文化祭と併せて開設した健康展と健康相談は、医療機関からの標本展示など成人病予防をテーマに実施し、延べ三〇〇人余の参観がありました。

町脳卒中友の会十周年記念大会は、十一月十五日に二二〇人の参加で行われ、功労者表彰のあと会員による発病体験や後遺症の克服、家庭生活の体験発表などがあり、在宅患者の励ましと要注意者に対し大きな示唆を与えました。

町内一斉の秋季清掃指導は、十一月二十日から二十八日まで実施し、宅地建物内外の清掃、生活雑排水、畜舎管理のほかゴミ不法投棄箇所等を重点に指導しました。

米の集荷数量は

九三パー台にとどまる

〔農林課関係〕：今年の稲作及び畑作は、干ばつ被害により稲作は平年収穫量一三、五八三トに対し減収率五・六割、減収量約七五七トと見込まれその被害額は



2年続きの減収で農家の表情もさえない

およそ二億一千百三十七万円となり、また畑地については減収量約一七〇ト、被害額は千五十五万八千円と見込まれ、合計被害額は二億二千九百九十二万八千円におよびました。

十月末に農協、土地改良区等を事業主体とした応急対策事業費の県補助を申請中であり、確定したい年内支払いの予定であります。なお今後、小猿部川や品類川の用水確保については貯水ダムをはじめ、既存の施設も含め多面的に対応策を検討してまいります。

米の十一月三十日現在の集荷数量は、限度数量二〇・八〇三ト（六〇キ入一八〇、〇五三俵）に対し、一〇、〇六二トと九三・一割であります。また、一等米比率は七九・四割程度を推移し数量、品質とも干ばつ被害の影響をうけました。

水田農業確立対策前期三年目の今年は、目標転作面積六四二畝に対し六八三畝を実施し、実施率一〇六・四割となりました。作目別には、大豆飼料作物などが

四五五畝（六六・六割）、野菜類一四六畝（二一・三割）、その他八二畝（一一・一割）となっております。転作補助金は一億六千二百二十万円と決定し、年内支払の予定であります。なお、後期対策については具体化されたい対処してまいります。

農協合併については平成二年四月一日を目標に綴子、七日市の三農協で鋭意協議中であります。

国営大野台農地開発については、制度改正により水田を含む事業になることから、農家の意向を十分に聴し国・県と協議しております。

農村総合整備モデル事業は農道、集落排水工事を施行中ですが、さらに堂ヶ岱地区農業排水、与助岱地区集落道整備を発注予定であります。

林業構造改善については、慶祝公園の駐車場舗装工事、作業道上舟木線（延長一、〇五八畝）が完了し、林道与治工門ノ沢線（延長九二〇畝）も近く完成予定であります。

町有林、町行林の保育施策については、林業就労の拡大を考慮し除間伐二二畝を完了し、枝打四七・六畝を実施中であり、鷹巣営林署との分収造林は今年度十九畝の植栽を完了しました。今後も引き続き施策を実施してまいります。

民有林の適切な森林振興については、十一月十七日に参加者一五〇人のもと、地域林業振興研究会を開催するなど、産業祭、シンポジウム等を通じ、機会あるごとに啓発につとめております。

〔商工課関係〕：十月六日に竣工した「大太鼓の館」のオープンイベントは六、〇〇〇人余りの参観者で賑わいました。十一月末現在入館者は、二二、一六四人の実績となっております。

第九回産業祭は、地域おこしはみんなの力で”をメインテーマに十一月二日から四日まで鷹巣体育館を中心に開催され、農・林・商・工業による展示と、農協・森林組合・商工会が中心となって各種のイベントが催

され、期間中一二、九〇〇人の参観者がありました。
町ヘラブナ同好会では、十一月五日にヘラブナを県協会助成で五〇〇キを今泉大堤に、町助成による五〇〇キを中央公園に放流して来シーズンにそなえました。



太鼓のメッカ、となった大太鼓の館

〔建設課関係〕：本年四月より十一月末までに発注した各種工事は、六十六件三億七千二百七十万三千円で予算対比八二・〇割の発注率となっております。今後予定されている箇所については、設計ができれば発注の予定であります。

災害復旧工事は現年災十二件、過年災二件を発注し早期完了を目指しております。

継続事業の葛黒・吉ヶ沢線の法面保護工事は期限内に完了、補助事業の七日市・松沢線の三ノ渡・与助岱地区も完了、また河川公園事業のテニスコートも期限内の完成を目指しております。

直営舗装については脇神・上野線外十六路線延長二五〇六メートルを完了しました。

除雪については幹線道路、生活道路を含めた延長一七九キ、その他二二キの計二〇一キを直営十三台、委託三十四台の除雪車の配備計画をたて万全を期します。

夢がいつばい

みちのく子供風土記館完成

〔教育委員会関係〕：九月二十八日に綴子小学校で鷹阿協指定公開研究会が開催され、綴子の歴史についての総合学習が好評を得ました。

東小学校は全日本健康優良校として県代表の榮譽に輝き、また竜森小学校の児童は「みどりの日制定作文コンクール」において特選に選ばれました。

体育関係では九月に全県高校新人陸上競技会、十月には昨年に引き続いて東北中学駅伝競走大会、十一月に全県女子駅伝兼秋田内陸縦貫駅伝競走大会が行われました。

文化財関係では、十月一日付けで羽州街道、明利又城跡など十一件を町文化財に指定しました。また、藤株遺跡を二カ年事業で範囲確認調査を実施し、初年度の今年は十月一日から十一月二日まで、県埋蔵文化財センターの協力を得て四万八千平方メートルの確認調査を行いました。

直木賞作家・渡辺喜恵子女史の寄付金を基に進めていた「みちのく子供風土記館」の建設は十月末に完成し、十一月五日に同女史の文学碑の除幕とあわせ竣工式を行いました。

今年の文化祭は、十一月二日から四日間の日程で開かれ、十一月三日には芸術文化の向上に顕著な成績をおさめた十三人に奨励賞を贈りました。また、生涯学習と地域づくりのための公民館活動のあり方を探る大館・北秋の研究会が十二月三日に広域交流センターで行われました。

公民館夏季講座は、六月から十月まで月二回の日程で開設され十六講座に三二〇人の受講者がありました。



みちのく子供風土記館の竣工式は「デント村」まで出現

小猿部簡水完成で

給水可能区域は九二・六パーセントに

〔水道課関係〕：二カ年継続の小猿部簡水は十月二十日で竣工し、十一月より十五集落全域に給水しました。総事業費は四億四千五百十三万六千円で、配水管総延長は二八・六一六キロとなりまた、各戸給水の加入率は七六・六割の状況にとどまり、今後の加入促進に鋭意努力してまいります。小猿部簡水の完成にともない町全域の給水可能区域は九二・六割となりました。

上水道の上期の経営状況は前年同期に比較し給水件数で二・〇割、給水量で一・三割の増加となっております。

読書感想文、体験文に 多数の応募を期待!

読書コンクール



中央公民館図書館利用者1日平均44.4人

生活時間の中で、テレビ、ビデオ、漫画、写真雑誌など映像のしめる位置が肥大する一方であります。

「見ればわかる」という便利さが、昨今のような時間に追われる生活にびったりしているということでしょうか。時には、その人の生き方を変えるとも言われている読書が片隅に寄せられる傾向さえでてきているようです。

カメラマンや映像作家のつくった、せまくなるしい限定された世界から一時でも解放され、活字(文字)を手がかりにして、無限の時間と空間を

創造する読書の醍醐味は又格別なものです。

恒例の読書感想文・読書体験文のコンクールを鷹巣町読書会と中央公民館主催で今年も実施します。

日頃お読みになっている本のことなど気軽に感想をお寄せください。

▽応募資格 原則として町内在住者、または通勤通学している方。小学校の部・中学校の部・高校の部・一般の部となつています。

▽内容 ①読書感想文 読んだ本(作品)について

の感想とします。ただし教科書、雑誌は対象外とします。

②読書体験文

例、わたしは(わが家では)こんな読書生活をしている。読書の思い出。心に残る本。

あなたの生き方に影響をあたえた本(読書)など日頃考えていることを気軽にまとめてみたものでも結構です。

▽字数及び用紙 四〇〇字詰原稿用紙をご使用ください。小学校の部は三枚以内で、その他の部については五枚以内とします。

▽応募締切 平成二年一月三十一日

▽表彰式 平成二年三月三日
▽留意事項 小・中学校は学校を通して、高校・一般は直接公民館へ(応募票は公民館にあります)

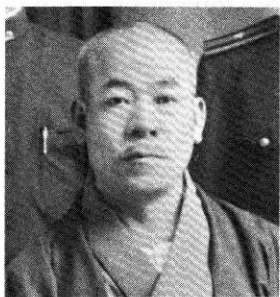
▽審査 応募作品の審査は主催者が委嘱した審査員によって行います。特選・入選・佳作の方は平成二年二月下旬まで町広報紙並びに秋北新聞、県北新聞紙上に発表すると同時に学校(一般は直接)に通知します。

▽その他 応募について不明な点は、鷹巣町中央公民館におたずねください。(番六二—一一三〇)

ふるさと人物伝

成田源三郎

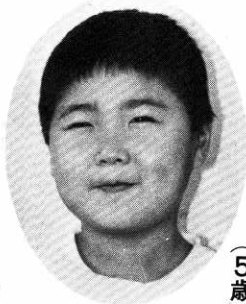
一八八八—一九五一



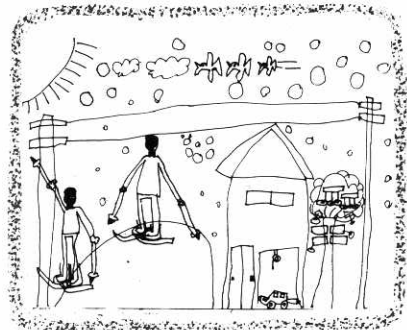
明治三十九年、秋田中学(現秋田高校)で同盟休校があった。原因は寄宿舎の規則が余りにきびしく違反して停退学させられた者が多数でたことに抗議してであった。その時の生徒であった畠山源三郎は「厳格と圧制を区別し、規則は守らなければならないが、青年期の発刺とした希望と情熱を失わせる圧制ではいけない」という論文を発表し、当時の中等教育のあり方に大きな示唆を与えた。秋田

市内の古本屋を廻り多くの本を読破し記憶力抜群の彼にしてできることであった。源三郎は明治二十一年八郎潟町一日市・畠山鶴松の三男に生まれ、秋田中学から第二高等学校(現東北大)に進む。英国人の英語教師が授業中に「大和魂」をけなしたことに腹を立て大げんかになり二年で退学する。明治四十四年、鷹巣町舟見町・成田徳之助の養女クラ(成田直衛四女)と結婚。大型水車による製材製米業に従事、傍ら「鷹巣敢為会」の書記をつとめる。昭六一九宮林署勤務・昭九・成田直衛翁記念図書館司書、昭一五—二〇樺太にて三田炭鉱出張所、昭二十一年鷹巣町初代の選挙管理委員長。謹厳実直、寡黙な方で立派なひげをはやし袴、羽織姿で近より難い威厳があった。達筆家でもあったが、酒好きが過ぎ、秀才型の能力を発揮できずに終わったようである。昭和二十六年没六十四歳(秋高百年史、三日田吉治、三男・見上中談より) 文・長崎 久

の広場



綴子保育園
いまがわ しんぺいちゃん
(5歳)



「県北空港・大野台中屋敷地区周辺に決定」。この頃よくニュースとして流れて来ます。十一月二十六日「県北の地に空港を」。「つくろう空港拓こう未来」。のスローガンのもと、体育館での総決起集会にも参加してみました。



中屋敷 近藤 義廣さん(64歳)

強力な運動を

今月のテーマ 『県北空港に期待』

対談 わたしたちの意見

でも、ただ外からはやしたてるだけでなく、地元として空港の実現を、どうとらえているのか、単に人を運ぶだけでなく、例えば農産物の中央への輸送とか、町当局と地元住民との腹を割った話し合いと、一致した心の結びが、何より土台となると信じています。地域活性化実現の為に、細部は後にしても、平成二年の国のヒヤリングに対処し、三年からの国の第六次空港五年計画へ絶対組み入れてもらおうよう、あらゆる運動を地元として強力に推進すること



杵(きね)

弥生時代からの古い用具
中央のくびれた部分を握って搗くきねで、穀物をついて粉にするのに用いた。弥生時代からの古い用具で、中細(中央の細い)杵で中国雲南地方はまだこれを使っているという。

(松葉町・佐藤 富雄さん)

秋田弁とイタリア語

山口県山口市・酒井ツギ子さん(53歳)



私が鷹巣で過した期間は、小学校三年から高校三年までのほぼ十年でした。年齢的に最も多感な時期であっただけに、そこで得た出会い、友情は今でも人生の得難い宝となっています。

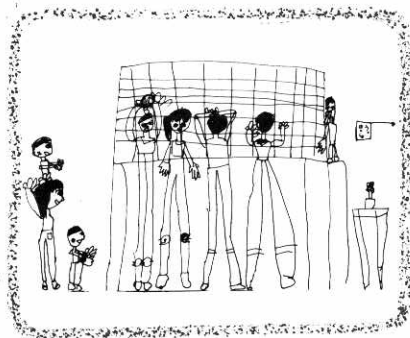
ところで東京から疎開して鷹巣に移った頃は、秋田弁はまるで話せなかつたのですが、高校を卒業する頃は、ずいぶん上手になっていました。後にイタリアに留学して、ほぼ八年間ローマやミラノに在住しましたが、その頃イタリア語と秋田弁が発音上、どこか共通しているところがあることに気づき、それからイタリア語をマスターするのが大変楽になりました。おかげで今でもイタリア人から発音がきれいだとはめてもらえます。

近況をというところで何か新しいことと言えば、「山口県婦人教育文化会館」というところで、「女性学入門」という講座の講師を来年三月まで担当していることでしょうか。婦人問題や生涯教育等について講座を進めておりますが、教員や公務員、県会の女性議員等県内各地から熱心に聴講しに来てくれます。

▽酒井さんは、旭町出身で山口女子大学・文学部の教授として活躍しております。



私は現在、本州の最西端



綴子保育園
みやの しょうこちゃん
(5歳)



みんな



町民になりました みなさんよろしく!



私は横手市出身で、秋田から比内養護学校吉野分校に転任してきました。現在、明るく元気な中学部3年生の4人に囲まれががんばっております。鷹巣は思ったより大きな町で、大太鼓にはビックリしました。高校・大学と弓道をやりましたので弓道場がほしいですね。

嶋森康子さん
栄字中綱99-1(秋田市からの転入です)

我が鷹巣町に空港ができるなんて、夢のようなお話だと思っておりますが、それが現実になりそうなので喜んでおります。

子供を持つ親として、空港が出来ることによって、いろんな企業の誘致が可能になり、



田沢 悦子さん(37歳)
亀山

不安と期待

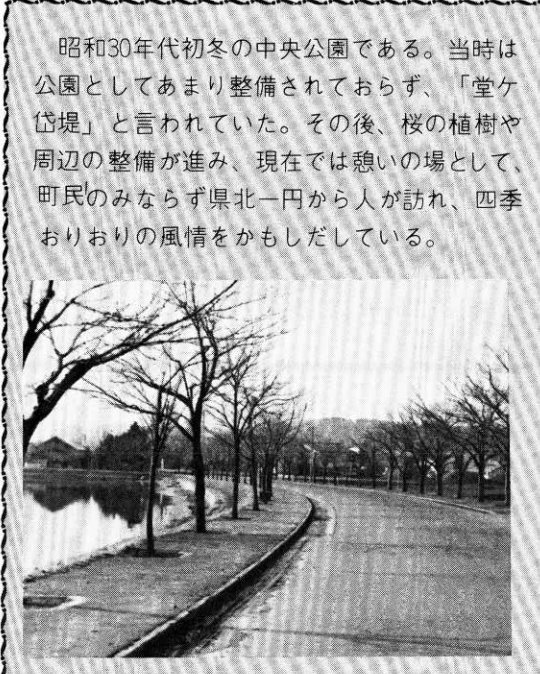
が、最重要課題と考えます。今年「午歳」です。天馬空を行く。「県北空港」実現に、張り切って邁進しよう。

雇用の拡大も期待されます。また、農家の一人として、農産物の輸送時間が短くなり、しかも大量に運ぶことが出来ることによって、ハウス栽培等も盛んになるだろうと思われま。

観光の面でも、大いに期待できますが、リゾート開発に当っては、自然を第一に考えた開発であってほしい。

これらの地域における、経済的波及効果は、住民の生活権を尊重する上でのみ、価値があると思います。

住民の不安である騒音対策等をうまく考慮しながら、町の今後の発展へ向けて、「県北空港早期実現」をお願いします。



たかのすの昔

昭和30年代初冬の中央公園である。当時は公園としてあまり整備されておらず、「堂ヶ岱堤」と言われていた。その後、桜の植樹や周辺の整備が進み、現在では憩いの場として、町民のみならず県北一円から人が訪れ、四季おりおりの風情をかもしだしている。

お知らせ

**献血にご協力
してください**

献血車が次の日程で巡回します。献血は気軽にできるボランティア。血液を待つ多くの患者さんのために、ご協力をお願いします。

献血された方には、血液のなかのコレステロール量など、六項目について生化学検査を無料で行っていきますので、自分の健康チェックにもなります。

◆一月八日(月)
▽北秋信用組合前(午前十一時～十一時五十分) ▽KKグリーンメイトジャパン前(

正午～零時五十分) ▽産業会館前(午後二時～三時十分)
▽役場前(午後三時二十分～四時三十分)

**母子健康手帳
交付と妊婦教室**

妊婦を対象とした、母子健康手帳、妊婦教室などの日程は次のとおりです。

■母子健康手帳交付と第一回妊婦教室(必ず本人がおいでください)

▽日程 一月八日、二十二日
▽受付時間 午後零時三十分から一時(終了時間三時)

▽妊婦教室内容 妊娠中の栄養、母乳栄養、母子健康手帳の使い方、映写、むし歯予防

▽持参品 印鑑、歯ブラシ

■第二回妊婦教室
▽日程 一月十一日 ▽時間 午前十時から三時まで

妊婦教室内容 講話、実技(妊婦体操)、映写など
▽持参品 母子健康手帳、トレパン、テキスト、昼食
※場所はいずれも中央公民館保健相談室です。

**水田耕作面
積の移動届**

平成二年度の水田耕作面積を把握するため、昨年中に売買、賃貸借などにより、水田面積に移動がある方は、一月二十日(期限厳守)まで、農林課農政係または各地区の農協へ届出ください。

※期限がすぎから提出されますと、一切の算定が平成三年度に計算されますので早めに提出してください。

農林業センサス

全国一斉に「世界農林業センサス」が二月一日を基準日として実施されます。

この調査は、我が国の農家戸数、耕地面積、農業経営の概況、また保有山林面積など農林業の現状を明らかにすることを目的としており、国勢調査と並ぶたいへん重要な調査です。

調査員が、お願いに伺いますのでご協力ください。

**「広報たかのす」郵送
サービスします**

町では「広報たかのす」を町外居住者の方にも購読していただくため、郵送サービスを行っております。

郵送希望者は、一年分(毎月二回発行をまとめて月一回送付) 郵送料七百二十円を添え、送付先の住所、氏名をお知らせください。(役場・広報秘書係 六二一一一 一内線二二二)

夜間当番医(夜間診療)日程表

(午後6時30分～9時)

1月	曜日	医療機関名	電話番号
1	月	近藤 医院	62-1263
2	火	北秋中央病院	62-1455
3	水	奈良 医院	62-1146
4	木	佐藤外科消化器科医院	62-1420
5	金	藤原 医院	62-2882
6	土	佐々木産婦人科医院	63-0105
7	日	盛岡 医院	62-1101
8	月	鷹巣 病院	62-1210
9	火	としま 医院	62-1267
10	水	戸嶋産婦人科医院	62-1123
11	木	近藤 医院	62-1263
12	金	北秋中央病院	62-1455
13	土	奈良 医院	62-1146
14	日	佐藤外科消化器科医院	62-1420
15	月	佐々木産婦人科医院	63-0105

(急患以外は受付けません)

1月10日は「110番の日」

あなたのホットライン

110番は、事件・事故があったときに、一刻も早く警察へ通報するための「緊急電話」です。

おしらせ



一線美術会運営委員 九島察二氏

一月の健康相談

一月の健康相談は、次のとおりです。

成人健康相談は十日と二十四日です。時間は午前十時から午後三時までです。

午前中は血圧測定のほか尿検査、体重測定など、午後は慢性病予防教室で、ビデオによる健康教育「禁煙、それは愛」を行います。

リハビリ学級は十七日です。在宅脳卒中後遺症の方を対象に行います。時間は午前十時から午後三時までです。

※場所はいずれも中央公民館保健相談室です。

四カ月児健康診査、七カ月

児健康相談と離乳食指導は三十日です。

対象のお子さん、受付時間などは次のとおりです。

▽四カ月児健診 九月生まれ 受付時間は午後一時から一時三十分までです。

▽七カ月児健康相談と離乳食指導 六月生まれ、受付時間は午前九時三十分から十時までです。

母子健康手帳とバスタオルを忘れずにお持ちください。場所は鷹巣保健所です。

◇ 二歳児歯科健康診査は三十日です。

対象は昭和六十二年十月、十一月生まれのお子さんです。

受付時間は午前十時から十二時二十分、母子健康手帳、問診票、歯ブラシを忘れずにお

持ちください。場所は中央公民館ホールです。

◇ 三歳児健康診査は十八日です。

対象は昭和六十一年十一月、十二月生まれのお子さんです。受付時間は午後零時四十分から一時十分まで、母子健康手帳問診票をお持ちください。場所は鷹巣保健所です。

生ワクチンの予防接種

生後三カ月から十八カ月までの乳幼児を対象に、経口ポリオワクチン（小児マヒと生ワクチン）の投与を行います。予備期間として四十八カ月まで投与できます。

投与日は、鷹巣地区以外の方は二十四日、鷹巣地区の方は二十五日です。

以前一回しか投与されなかった場合は、必ず二回目の投与を受けてください。

受付時間は、午後一時から

二時まで中央公民館ホールで行います。※禁忌と注意

生ワクチンに関する一般的な禁忌である免疫産生機能に異常ありと想定される場合は投与を行いません。その他、下痢患者も治療してから投与します。母子健康手帳を必ずお持ちください。

香典返し

このほど次のかたから、香典返しにと町社会福祉協議会へ寄付金がありました。

▽芳志に感謝いたします。

▽合川町 大沢尚弘さんから

亡父要蔵さんの香典返し

▽大野尻 津谷義治さんから

亡父則義さんの香典返し

▽今泉 簾内三郎さんから

母ナラさんの香典返し

▽田中 成田良一さんから

父忠治さんの香典返し

▽脇神 花田和子さんから

亡夫忠重さんの香典返し

▽材木町 小畑耕一郎さんから

亡母ミツエさんの香典返し

慶弔だより

12月1日～12月15日 誕生おめでとうございます

一敬称略一

- 高橋 昇平(勝彦) 長男 綾子上町
- 小畑 文香(博行) 三女 前野
- 三沢 有里加(克芳) 長女 大堤
- 松岡 優斗(英敏) 長男 摩当
- 長崎 友美(勝作) 二女 深関
- 田中来瑠美(克幸) 長女 大町
- 津谷 匠(忠雄) 長男 緑ヶ丘

■二人の前途を祝福いたします

- 野 呂 満人 前山
- 山本 幸子 大館市
- 神成 司 舟場
- 高堰 あきみ 阿仁町
- 山 昌 賢一 前野
- 小林 恵 能代
- 櫻庭 敏和 蟹沢
- 川田 優子 大館市

おくやみ申しあげます

- 高橋 綾(1歳) 綾子上町
- 津谷 則義(45歳) 大野尻
- 簾内 ナラ(82歳) 今泉
- 成田 忠治(77歳) 田中
- 布田 祐藏(56歳) 綾子上町
- 佐藤 ヒサ子(41歳) 坊山
- 工藤 直藏(61歳) 新田中
- 佐藤 孝治(62歳) 坊沢大町
- 大沢 フミ(82歳) 住吉町



—春よ来い はやくこい—
写真・鷹巣中央公園